



2021年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月15日

上場会社名 株式会社ヒューマンクリエーションホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 7361 URL https://hch-ja.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 富永 邦昭
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 河邊 貴善 TEL 03 (5157) 4100
 定時株主総会開催予定日 2021年12月15日 配当支払開始予定日 2021年12月16日
 有価証券報告書提出予定日 2021年12月16日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・個人投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期の連結業績（2020年10月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期	5,035	10.3	478	57.5	464	52.9	275	31.2
2020年9月期	4,565	9.9	303	△9.4	303	△9.0	210	3.1

(注) 包括利益 2021年9月期 275百万円 (31.3%) 2020年9月期 210百万円 (2.3%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年9月期	146.05	-	32.4	22.9	9.5
2020年9月期	116.43	-	40.9	18.1	6.7

(参考) 持分法投資損益 2021年9月期 -百万円 2020年9月期 -百万円

(注) 1. 2020年12月15日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年9月期	2,192	1,064	48.5	552.43
2020年9月期	1,855	637	34.3	344.58

(参考) 自己資本 2021年9月期 1,064百万円 2020年9月期 637百万円

(注) 2020年12月15日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年9月期	267	△51	44	846
2020年9月期	338	△269	118	586

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年9月期	-	-	-	0.00	0.00	-	-	-
2021年9月期	-	-	-	48.98	48.98	94	33.5	10.9
2022年9月期(予想)	-	-	-	50.00	50.00		30.8	

3. 2022年9月期の連結業績予想（2021年10月1日～2022年9月30日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,697	13.2	530	10.9	527	13.7	312	13.4	162.42

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 -社（社名）-、除外 -社（社名）-

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期	1,926,550株	2020年9月期	1,848,750株
② 期末自己株式数	2021年9月期	158株	2020年9月期	-株
③ 期中平均株式数	2021年9月期	1,889,047株	2020年9月期	1,805,994株

(注) 当社は、2020年12月15日付で普通株式1株について3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年9月期の個別業績（2020年10月1日～2021年9月30日）

(1) 個別経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期	670	17.5	379	27.9	362	25.9	314	26.3
2020年9月期	570	45.2	296	238.5	287	275.3	248	245.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期	166.54	-
2020年9月期	137.87	-

(注) 1. 2020年12月15日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年9月期	1,818	952	52.4	494.28
2020年9月期	1,409	486	34.5	263.05

(参考) 自己資本 2021年9月期 952百万円 2020年9月期 486百万円

<個別業績の前期実績値との差異理由>

当社は当事業年度において、子会社からの受取配当金の増加などがあったことにより、前事業年度の実績値と当事業年度の実績値との間に差異が生じております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行による経済活動の停滞が長期化しております。その後緊急事態宣言が解除されたことを受けて、経済活動は再開され回復に向かうことが期待されておりますが、依然、国内外の感染症の動向は楽観視できない状況が続いており、先行きは極めて不透明な状況が続いております。

当連結会計年度の期初においては、当社グループの主要顧客である大手システム開発企業各社で、新型コロナウイルス感染症の拡大等に伴い技術開発投資の延期等が発生したものの、年度後半にかけて受注環境は回復傾向にあり、当社グループの事業活動において、受注に向けた営業活動の停滞、受注減少等に与える影響は限定的と認識しております。

そうした状況の中、当社グループは、技術者派遣においては、案件に係る商流の改善を進めることで派遣単価の向上に努め、また既存顧客に加え新規顧客を積極的に開拓することで技術者の稼働率の維持に努めてまいりました。一方、年度前半におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により首都圏を中心に技術者派遣需要が停滞傾向の中、不透明な国内需要動向を鑑み、中途採用を一時的に抑制しました。

このような事業環境のもと、当社グループは中長期的な経営戦略として、将来に向けた成長基盤の拡充と人材の育成を掲げ、「業界有数の人財数」、「業界有数の技術力」、「オリジナルの制度に基づく人材育成力」を実現すべく、当連結会計年度において新たな顧客企業の開拓等により新型コロナウイルス感染症による影響を極小化することに取り組んでまいりました。

以上の結果、当社グループの当連結会計年度の業績は、売上高は5,035百万円（前期比10.3%増）となり、営業利益は478百万円（前期比57.5%増）、経常利益は464百万円（前期比52.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は275百万円（前期比31.2%増）となりました（子会社別の売上高は、株式会社ブレーンナレッジシステムズ：3,188百万円、株式会社シー・エル・エス：1,035百万円、株式会社アセットコンサルティングフォース：604百万円、株式会社セイリング：437百万円となっており、グループ内取引の相殺消去前の数値を記載しております。）。

なお、当社グループはシステムソリューションサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ336百万円増加し、2,192百万円（前連結会計年度末比18.2%増）となりました。繰延税金資産の減少16百万円、のれんの減少12百万円等により減少した一方で、売掛金の回収に伴う現金及び預金の増加260百万円、事業拡大に伴う売掛金の増加120百万円等により増加しております。

負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べ90百万円減少し、1,128百万円（前連結会計年度末比7.4%減）となりました。未払法人税等の増加50百万円、買掛金の増加31百万円等により増加した一方で、消費税の納付に伴う未払消費税等の減少131百万円、長期借入金の減少93百万円等により減少しております。

純資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べ427百万円増加し、1,064百万円（前連結会計年度末比67.1%増）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加275百万円、当社株式の東京証券取引所マザーズ上場に伴う公募増資の実施及びオーバーアロットメントによる第三者割当増資の実施による資本金の増加75百万円、資本剰余金の増加75百万円により増加しております。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ260百万円増加し、846百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況及びこれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、267百万円の収入となりました。これは主に事業拡大に伴う売掛金の増加による売上債権の増加額120百万円、法人税等の支払額119百万円を計上した一方で、税金等調整前当期純利益464百万円があったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、51百万円の支出となりました。これは主に、当社子会社の株式会社アセットコンサルティングフォースにおいて、コンサルティング機能・受託開発機能のさらなる拡大と充実を図ることを目的として、株式会社グローステクノロジーズから事業の一部を譲り受けた事業譲受による支出35百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、44百万円の収入となりました。これは主に長期借入金の返済による支出93百万円、当社株式の東京証券取引所マザーズ上場に伴う有価証券届出書等の作成・印刷費用等による上場関連費用の支出13百万円があった一方で、当社株式の東京証券取引所マザーズ上場に伴う公募増資の実施による株式の発行による収入151百万円があったことによるものです。

(4) 今後の見通し

当社グループは、長期ビジョン（10年後のありたい姿）である「技術力・規模ともにIT業界の首位グループ」を実現すべく、今後も継続して事業拡大に傾注してまいります。翌連結会計年度（2022年9月期）の連結業績見通しにつきましては、売上高5,697百万円（前年同期比13.2%増）、営業利益530百万円（前年同期比10.9%増）、経常利益527百万円（前年同期比13.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益312百万円（前年同期比13.4%増）を予想しております。

新型コロナウイルス感染症の拡大による影響は、当連結会計年度末時点において当社グループの事業活動に重要な影響を与えていないことなどを踏まえ、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響は限定的と仮定して、当社の翌期連結業績予想への影響は軽微であると考えております。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、国内外の諸情勢を踏まえつつ国内の同業他社の適用動向等を鑑み、国際会計基準の適用について適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当連結会計年度 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	586,016	846,220
売掛金	511,990	632,246
仕掛品	8,083	3,916
その他	22,410	18,772
流動資産合計	1,128,500	1,501,156
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	69,795	73,285
減価償却累計額	△16,438	△23,296
建物附属設備 (純額)	53,357	49,989
工具、器具及び備品	26,856	32,229
減価償却累計額	△10,305	△14,400
工具、器具及び備品 (純額)	16,551	17,829
有形固定資産合計	69,908	67,818
無形固定資産		
のれん	436,647	423,683
その他	7,394	3,873
無形固定資産合計	444,042	427,556
投資その他の資産		
敷金	86,730	86,636
繰延税金資産	124,399	107,902
その他	1,900	1,300
投資その他の資産合計	213,029	195,839
固定資産合計	726,980	691,214
資産合計	1,855,481	2,192,371

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当連結会計年度 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,970	34,802
1年内返済予定の長期借入金	93,192	93,192
未払金	300,635	304,338
未払費用	57,750	59,083
未払法人税等	44,353	94,455
未払消費税等	234,272	102,720
賞与引当金	103,576	109,085
その他	16,745	19,956
流動負債合計	853,495	817,634
固定負債		
長期借入金	266,416	173,224
退職給付に係る負債	80,914	105,355
役員退職慰労引当金	17,617	31,967
固定負債合計	364,947	310,546
負債合計	1,218,442	1,128,180
純資産の部		
株主資本		
資本金	117,790	193,661
資本剰余金	27,790	103,661
利益剰余金	491,457	767,345
自己株式	-	△476
株主資本合計	637,038	1,064,190
純資産合計	637,038	1,064,190
負債純資産合計	1,855,481	2,192,371

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
売上高	4,565,004	5,035,418
売上原価	3,371,264	3,606,921
売上総利益	1,193,739	1,428,496
販売費及び一般管理費	890,019	950,216
営業利益	303,720	478,279
営業外収益		
受取利息	3	5
為替差益	133	196
その他	3,434	1,109
営業外収益合計	3,572	1,310
営業外費用		
支払利息	3,325	1,912
上場関連費用	-	13,657
その他	525	-
営業外費用合計	3,850	15,570
経常利益	303,442	464,020
特別損失		
固定資産除却損	361	-
特別損失合計	361	-
税金等調整前当期純利益	303,081	464,020
法人税、住民税及び事業税	116,239	171,636
法人税等調整額	△23,427	16,496
法人税等合計	92,812	188,133
当期純利益	210,268	275,887
親会社株主に帰属する当期純利益	210,268	275,887

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
当期純利益	210,268	275,887
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△87	-
その他の包括利益合計	△87	-
包括利益	210,181	275,887
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	210,181	275,887

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	100,000	10,000	281,188	391,188
当期変動額				
新株の発行 (新株予約権の行使)	17,790	17,790	—	35,581
親会社株主に帰属する 当期純利益	—	—	210,268	210,268
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	—	—	—	—
当期変動額合計	17,790	17,790	210,268	245,849
当期末残高	117,790	27,790	491,457	637,038

	その他の包括利益 累計額		新株予約権	純資産合計
	為替換算 調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	87	87	273	391,549
当期変動額				
新株の発行 (新株予約権の行使)	—	—	—	35,581
親会社株主に帰属する 当期純利益	—	—	—	210,268
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△87	△87	△273	△360
当期変動額合計	△87	△87	△273	245,488
当期末残高	—	—	—	637,038

当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式
当期首残高	117,790	27,790	491,457	-
当期変動額				
新株の発行	75,870	75,870	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	-	-	275,887	-
自己株式の取得	-	-	-	△476
当期変動額合計	75,870	75,870	275,887	△476
当期末残高	193,661	103,661	767,345	△476

(単位：千円)

	株主資本	純資産合計
	株主資本合計	
当期首残高	637,038	637,038
当期変動額		
新株の発行	151,741	151,741
親会社株主に帰属する 当期純利益	275,887	275,887
自己株式の取得	△476	△476
当期変動額合計	427,151	427,151
当期末残高	1,064,190	1,064,190

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	303,081	464,020
減価償却費	15,995	16,532
固定資産除却損	361	-
のれん償却額	59,631	62,964
賞与引当金の増減額 (△は減少)	23,254	5,508
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△279	-
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	12,375	24,441
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	14,269	14,350
受取利息	△3	△5
支払利息	3,325	1,912
上場関連費用	-	13,657
売上債権の増減額 (△は増加)	26,145	△120,256
未払費用の増減額 (△は減少)	2,316	1,333
その他の資産の増減額 (△は増加)	9,937	14,315
その他の負債の増減額 (△は減少)	22,722	△109,736
小計	493,132	389,037
利息の受取額	3	5
利息の支払額	△3,325	△1,912
法人税等の支払額	△150,885	△119,602
営業活動によるキャッシュ・フロー	338,924	267,527
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△18,927	△10,920
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△248,074	-
事業譲受による支出	-	△35,000
敷金の差入による支出	△1,162	△5,816
敷金の回収による収入	3,485	-
資産除去債務の履行による支出	△1,572	-
その他	△3,294	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△269,546	△51,737
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	240,000	-
短期借入金の返済による支出	△285,000	-
長期借入れによる収入	400,000	-
長期借入金の返済による支出	△235,862	△93,192
社債の償還による支出	△36,000	-
自己株式の取得による支出	-	△476
ストックオプションの行使による収入	35,307	-
株式の発行による収入	-	151,741
上場関連費用の支出	-	△13,657
財務活動によるキャッシュ・フロー	118,445	44,414
現金及び現金同等物に係る換算差額	△87	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	187,736	260,204
現金及び現金同等物の期首残高	398,279	586,016
現金及び現金同等物の期末残高	586,016	846,220

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、システムソリューションサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
1株当たり純資産	344.58円	552.43円
1株当たり当期純利益	116.43円	146.05円

1. 前連結会計年度及び当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が期末時点において存在しないため、記載していません。
2. 2020年12月15日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産及び1株当たり当期純利益を算定しております
3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	210,268	275,887
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期 純利益(千円)	210,268	275,887
普通株式の期中平均株式数(株)	1,805,994	1,889,047
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1株当たり当期純利益の算定に含めなかった 潜在株式の概要	-	-

(重要な後発事象)

(株式取得による会社の買収)

当社は2021年8月11日開催の取締役会において、株式会社ヒューマンベースの株式を取得して子会社化することについて決議をしました。また、2021年10月1日付で株式を取得したことにより子会社化しました。

1. 企業結合の概要

①被取得企業の名称及びその事業内容

被取得企業の名称：株式会社ヒューマンベース

事業内容：システムコンサルティング及びシステム設計・開発

②企業結合を行った主な理由

株式会社ヒューマンベースのERP分野でのノウハウや顧客基盤を取り込むとともに、当社グループの顧客基盤の活用やエンジニア採用・教育強化といった相乗効果を実現し、幅広い業界に対するコンサルティング・上流工程領域の拡大により、より利益率の高いシステム開発案件を獲得することで、当社グループの企業価値向上を目指すためであります。

③企業結合日

2021年10月1日

④企業結合の法的形式

現金を対価とする株式の取得

⑤結合後企業の名称

変更はありません。

⑥取得した議決権比率

100%

⑦取得企業を決定するに至った主な根拠

現金を対価として株式を取得したためであります。

2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類

取得原価 370,600千円

取得対価 現金

3. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

内容を精査中であるため、未確定であります。